

研究課題名「内科病棟看護師に対するせん妄の教育の効果」に関する情報公開

1. 研究の対象

2017年9月1日～2018年2月28日に当院10W病棟に入院した65歳以上の方

2. 研究目的・方法

研究目的

10W病棟看護師がせん妄の知識、ケア方法を理解することで、せん妄の予防や速やかな回復に寄与することを目指した教育介入の効果を患者のせん妄発症率で検証することです。

研究方法

10W病棟看護師に対してせん妄に関する研修を2回行います。1回目の研修は、認知症専門医によるせん妄の医学的知識についての講義、老人看護専門看護師によるせん妄のスクリーニングや予防を含めたケアに関する知識の講義、薬剤師による薬物療法の講義を行います。2回目の研修は、事例を用いてグループ討議やシミュレーションを行う。シミュレーションには模擬患者が参加し、ファシリテーターとして老人看護専門看護師教育課程に在籍中の大学院生が参加します。研修後の看護師は日常ケアにおいてスクリーニングと発症要因について電子カルテに記載します。その研修の効果を看護師からは、認知症やせん妄の知識に関する自作の自記式無記名アンケートを、教育介入前、1ヵ月後、6ヵ月後に行います。電子カルテからは、2017年9月～2018年1月の間でせん妄の発症、認知症の人数、身体拘束の人数等に関して看護記録から情報収集します。詳細は下記を参照してください。

収集内容の結果、教育研修が看護師に対して効果があったのか、その看護師がケアの対象となる患者さんにはどのような変化が見られたのかを評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ①せん妄発症の人数と罹病期間
- ②せん妄発症あり患者のせん妄発症要因
- ③認知症患者の人数
- ④せん妄発症患者の在院日数
- ⑤身体拘束人数とその期間
- ⑥せん妄発症時のスクリーニングツールの活用状況
- ⑦入院時におけるせん妄発症要因の活用回数
- ⑧身体拘束カンファレンス時におけるせん妄発症要因の活用数

上記8点についての情報を研究に用います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

名古屋大学医学部附属病院 10W 病棟

看護師: 勅使川原 元

住所: 愛知県名古屋市昭和区鶴舞 65

直通電話: 052-744-2713

FAX 番号: 052-744-2713

研究責任者: 名古屋大学医学部附属病院 10W 病棟 磯村 義人

研究分担者: 名古屋大学医学部附属病院 10W 病棟 勅使川原 元

名古屋大学医学部附属病院 10W 病棟 杉山 文香

名古屋大学医学部附属病院 10W 病棟 中村 真緒

名古屋大学医学部附属病院 10W 病棟 川井 伸恵